

岩手県山岳協会登山普及部県外登山「富士山」報告書

- 1 日時 平成 21 年 7 月 17 日（金）～19 日（日）
- 2 参加者 19 名（登山普及部スタッフ 4 名 山口吉男 中村桂悦 斉藤政人 三浦拓男含む）
- 3 行程

7 月 17 日（金）（天気／曇り）

- 6:35 出発にあたり武田理事長・植田登山普及部長の両氏から激励の挨拶あり
- 6:40 盛岡駅西口バスターミナル出発
- 6:50 盛岡 IC 1 名乗車
- 7:05 紫波 IC 3 名乗車
- 7:30 江釣子北上 IC 2 名乗車
- 8:30 長者原 SA
- 10:20 安達太良 SA
- 12:00～12:40 佐野 SA にて昼食
- 13:20 蓮田 SA
首都高速道の渋滞につかまり首都高を抜けるのに約 2 時間 30 分要す。
- 16:00 海老名 SA
- 16:35 御殿場 IC から一般道へ途中コンビニに立ち寄り食料調達
- 17:50 富士宮登山口新 5 合目（2400M）
数日前の落石事故の現場に驚く。
- 18:15 6 合目雲海荘に向けて登山行動開始
- 18:40 6 合目雲海荘（2490M）着
到着後夕食等で寛ぐ。宿泊者少なく当グループの貸切状態。
20 時頃小屋の前から富士宮、御殿場、小田原方面の夜景は見事。
就寝時間 9 時

7 月 18 日（土）（天気／雨のち晴れ）

- 4:00 起床 朝食 生憎の雨模様。
- 4:50 6 合目雲海荘を後に全員レインウェアを着て登山行動開始
- 5:50 新 7 合目 御来光山荘（2780M）着
- 6:50 7 合目 元祖 7 合目山口山荘（3010M）着
風雨が序々に強まり登山行動が続行可能であるか、スタッフミーティングを行う。結果、8 合目に向い途中、これ以上風雨が強まる様であれば登山行動を中止する場合もあると判断のうえ出発。
- 7:40 8 合目 池田館（3250M）着
雨は依然変ることなく降り続けているが、幸いにも風が弱まる。参加者全員、高度障害を訴える者も無くこのまま登山行動続行できると判断し 9 合目へと向かう。
- 8:30 9 合目 万年雪山荘（3460M）着
- 9:10 9 合 5 勺 胸突山荘（3590M）着
雨脚は強くも弱くも変化無し。
- 10:05 浅間大社奥宮山頂（3740M）に全員無事到着。
全員高度障害も無く登頂。
9 合 5 勺の小屋の方に聞いたところ“今日の富士山最高到達点である剣ヶ峰は風が強くて登らないといけないかもかもしれませんよ。”との情報を得る。よって剣ヶ峰への登頂は断念し今回の富士山登山は浅間大社奥宮を頂上とする。
- 11:00 下山開始

	9 合目万年雪山荘あたりから視界が広がり青空も見え始める。 登山者のすれ違いに意外と時間がかかる。
13:00	8 合目池田館 登山者が多くすれ違いに苦労するも、宝永山の真亀が素晴らしい。
15:00	6 合目雲海荘着
15:20	お土産を購入。預けた荷物を受け取り下山開始
15:40	新 5 合目富士宮口駐車場まで全員無事に下山（登山行動終了）。
16:05	新 5 合目出発
17:10	ホテルルートイン御殿場着 チェックイン後、大浴場にて汗を流ししばし寛ぐ。
18:45	夕食会場、御殿場高原ビール内の“麦畑”着 19 時～20 時 50 分までバイキング形式の食事と御殿場高原ビール(地ビール飲み放題)を堪能する。食事、ビールともとても美味しく頂いた。
21:20	ホテルルートイン御殿場 着

7 月 19 日 行動時間（天気／晴れ）

8:00	ホテルルートイン御殿場を出発
9:00	海老名 SA 幸いにも首都高速道の渋滞は無く順調に通過。午前中という時間帯と三連休の中日の影響なのか
12:00	佐野 SA 12 時 00 分～12 時 40 分昼食
13:15	上河内 SA
14:50	安達太良 SA
15:35	国見 SA
17:20	長者原 SA
18:20	北上 IC 2 名下車
18:45	紫波 IC 3 名下車
18:55	盛岡 IC 1 名下車
19:05	盛岡駅西口着 解散

総評

登山開始から下山まで雨と天気恵まれなかったが、誰一人として高度障害も無く頂上の浅間大社奥宮山頂まで登る事が出来た。6 合目山小屋に泊まり高度順化に成功したと思われる。

幸いにも下山途中には天気が回復し、雲海の間隙から下界の景色を望みながら歩くことが出来た。今回の富士山山行は雨の中を登るという過酷な条件だったが、それはそれで、参加者全員にとってある意味とても思い出深い山行になったものと思われる。苦難あってこそその達成感に満ちたものと確信する。

また、バス移動時間、登山行動時間ともに計画書のタイムスケジュールから大きなズレも無くほぼ計画通りに進むことができた。

帰路の車内ではしばし和やかな雰囲気につつまれ楽しい思い出に花を咲かせ岐路に向かった。